

トライアル地域日本語教室について

地域創生部ぐんま暮らし・外国人活躍推進課

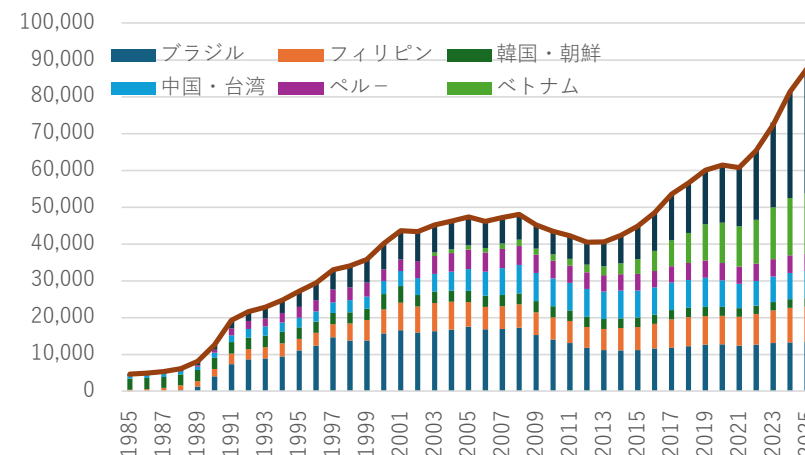
国の動き

- 従来の技能実習制度を見直し、育成就労制度を創設
- ➡ 育成就労後、特定技能への移行が増加し、家族滞在等の日本語を十分に習得しないまま来日する外国人が増加する見込み

県内の現状

- 外国人住民割合上位市町村（R7.12現在）
- 外国人住民数は年々増加

順位	市町村名	外国人住民数	外国人住民割合
1	大泉町	9,011人	21.8%
2	草津町	710人	11.8%
3	昭和村	721人	10.5%
4	伊勢崎市	17,320人	8.2%
5	太田市	16,695人	7.5%
6	千代田町	676人	6.3%
7	館林市	4,461人	6.1%
8	板倉町	799人	6.0%
9	邑楽町	1,412人	5.6%
10	玉村町	1,656人	4.7%



地方公共団体の役割

- 日本語教育の推進に関する法律（令和元年6月28日施行）
- 第5条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、日本語教育の推進に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の地域の状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。

➡ 地方公共団体には外国人住民への日本語教育が求められている

地域日本語教室とは

地域創生部ぐんま暮らし・外国人活躍推進課

「地域における生活者」としての外国人住民へ日本語教育を行う教室
地方公共団体や国際交流協会、NPO法人などによって運営されている。

【教える内容】

- ・発音、ひらがな、カタカナ、漢字
- ・文法、日常会話 など

※日本語を学ぶことでゴミ出しのルールや交通マナー等の理解に繋がる。

【対象者】

- ・就労者（技能実習、特定技能など）
- ・帯同家族（日本人の配偶者など）

【開催頻度・時間】

- ・週1～3回。
- ・1回あたり60分～120分

※夜間や休日等に実施する場合あり。

【料金】

- ・無料または有料
（年間500円～3,000円）

【教室の形態】

- ・会場は公民館や役所
- ・教室形式（約30名）、少人数クラス（2～3人のグループに学習支援者1人）
- ・対面式またはオンライン形式



婦恋村日本語教室の様子



太田市日本語教室の様子

本人、企業、地域それぞれのメリット

1

本人の能力向上

日本語能力向上により、円滑な日常生活や職場での能力発揮が可能

2

企業の競争力向上

外国人従業員の定着・活躍促進、外国人材の獲得に寄与

3

地域の活性化

外国人住民が地域の担い手として活躍
生活ルールの理解度向上や住民との交流増加により安心安全な地域へ

実施市町村への支援

地域創生部ぐんま暮らし・外国人活躍推進課

トライアル地域日本語教室の実施から日本語教室設置までの伴走支援ほか、各種の支援が可能。

	内容	運営面	財政面	実施市町村のメリット
1年目	トライアル地域日本語教室の実施	<ul style="list-style-type: none">・実施市町村と連携のもと県が開設支援（1年限り）※実施市町村の役割：会場予約、参加者募集（広報・とりまとめ等）、当日会場準備等	地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業により、日本語教室の実施にかかる経費を補助（国庫補助率1/2） ※ <u>県1/2により、実施市町村負担なし。</u>	<ul style="list-style-type: none">・日本語教室のイメージ・学習者のニーズ把握が可能・教室運営のノウハウを習得
2年目以降	地域日本語教室の設置、継続的な運営	日本語学習支援ボランティア養成講座や地域日本語教育コーディネーターによる教室巡回等により、学習支援者の養成や教室運営を県がバックアップ	地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業により、日本語教室の運営にかかる経費を補助（国庫補助率1/2） ※実施市町村1/2負担。 ※教室設置にかかる費用：講師謝金、会場借上代、教材印刷費、消耗品費等	教室運営の課題としてあげられる学習支援者の養成に関する負担が軽減

令和7年度 千代田町の取組事例

地域創生部ぐんま暮らし・外国人活躍推進課

千代田町の特徴

(令和7年12月末)

- ・**住民数** 10,752人
- ・**外国人住民数** 676人 (前年度から11.9%増加)
- ・**外国人比率** 6.3% (県内6位)
- ・**国籍 (上位5か国)** ブラジル、ベトナム、ミャンマー、インドネシア、フィリピン
- ・**在留資格 (上位5資格)** 永住者、技能実習、定住者、技術・人文知識・国際業務、特定技能1号
※金属製品、自動車関連などの輸送用機械、食品加工などの工場が多く、これらの現場で働く外国人が多く見られる。

教室開催前準備

■ アンケート調査の実施

日本語教室のニーズや教室の開催形態等を把握するため、雇用事業主、外国人従業員、日本人住民、役場職員を対象にアンケート調査を実施。

■ 日本語学習支援ボランティア養成講座の開催

教室運営に協力していただけるボランティアを募集し、日本語学習支援ボランティア養成講座を開催。

■ 開催概要の決定及び受講者・ボランティアの募集

日本語教室の日時や場所、内容等を決定し、受講者及びボランティアを募集。



令和7年度 千代田町の取組事例

地域創生部ぐんま暮らし・外国人活躍推進課

教室概要

- ・**場所** 千代田町役場、コスメニスト千代田
- ・**方法** 対面
- ・**時期** 12月～1月
- ・**回数/時間** 4回 各2時間
※平日夜、土曜日の日中など様々な時間帯で実施

募集方法

- ・千代田町・明和町広報、千代田町ホームページ掲載
- ・企業へチラシ配布・電話・訪問
- ・小中学校へチラシ配布
※小中学校からのチラシで2名、企業からのチラシで9名参加

受講者情報

国籍：フィリピン5人、インドネシア3人、ベトナム2人、ペルー1人
日本語能力：日常的な会話はできる7人、日本語能力検定取得者3人（N3 1人、N4 1人、N5 1人）
在留資格：技術・人文知識・国際業務2人、特定技能3人、技能実習5人、定住者1人

講座の内容

- 【第1回】自己紹介+日付を表す言葉
／会話：2人1組になり趣味を聞く
 - 【第2回】数字(数やお金の数え方・月日の読み方)、1週間の言い方
／会話：「～は何曜日ですか?」、「いくらですか?」
 - 【第3回】体の名前・体調を説明する言い方・病院の種類等
／会話：病院に行ったときの会話
 - 【第4回】年末年始に関する言葉、お節料理、ものの数え方（序数）
／会話：休暇の報告
- ※第2回、第4回は土曜日の日中に開催



年間スケジュール

地域創生部ぐんま暮らし・外国人活躍推進課

4月～6月

- ・ 開催日決定・会場選定
- ・ アンケート作成・実施
※1

7月～9月

- ・ 学習者募集（チラシ・ホームページ作成）※2
- ・ ボランティア養成講座の開催
- ・ アンケート集計・講座内容検討
- ・ 学習支援者（ボランティア）募集

10月～11月

- ・ 日本語教室の開催（4回）

12月～3月

- ・ 文科省へ補助金申請（例年2月上旬）
- ・ 振り返り

※1：アンケートは、県が外国人を雇用する事業者・外国人住民に調査を実施。実施市町村が日本人住民・行政職員に調査を実施。

※2：企業、学校にも外国人住民への募集を依頼。